

# 参 考 资 料



「ひと」の状況

人口の推移

市町村名	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	対H27
宮崎市 市全域	384,391	392,178	395,593	400,583	401,138	401,339	100.1%
中山間地域のみ	40,968	43,048	41,889	40,277	38,874	38,838	99.9%
旧宮崎市 木花村	11,532	13,999	14,310	13,982	13,649	13,622	99.8%
青島村	4,067	3,880	3,786	3,742	3,564	3,555	99.7%
旧田野町	12,428	12,321	11,580	11,025	10,706	10,855	101.4%
旧高岡町	12,941	12,848	12,213	11,528	10,955	10,806	98.6%
都城市 市全域	174,054	171,812	170,955	169,602	165,029	160,640	97.3%
中山間地域のみ	53,741	52,089	49,702	46,806	43,543	40,075	92.0%
旧都城市 西岳村	3,093	2,799	2,582	2,337	2,011	1,584	78.8%
中郷村	9,308	9,400	9,227	8,917	8,767	8,206	93.6%
旧山之口町	7,561	7,322	6,935	6,635	6,310	5,817	92.2%
旧高城町	12,915	12,570	11,944	11,191	10,392	9,789	94.2%
旧山田町	8,811	8,615	8,288	7,809	7,071	6,531	92.4%
旧高崎町	12,053	11,383	10,726	9,917	8,992	8,148	90.6%
延岡市 市全域	141,751	139,176	135,182	131,182	125,159	118,394	94.6%
中山間地域のみ	38,310	37,975	36,862	35,380	33,272	30,963	93.1%
旧延岡市 南方村	20,534	21,119	21,162	21,315	20,897	20,001	95.7%
南浦村	2,654	2,441	2,153	1,921	1,576	1,360	86.3%
旧北方町	5,339	4,987	4,680	4,244	3,861	3,338	86.5%
旧北川町	5,019	4,824	4,478	4,002	3,531	3,207	90.8%
旧北浦町	4,764	4,604	4,389	3,898	3,407	3,057	89.7%
日南市	65,809	63,421	60,914	57,689	54,090	50,848	94.0%
小林市	52,828	51,697	49,820	48,270	46,221	43,670	94.5%
日向市 市全域	64,341	64,186	63,555	63,223	61,761	59,629	96.5%
中山間地域のみ	12,838	12,149	11,516	10,782	9,939	9,135	91.9%
旧日向市 美々津町	2,755	2,627	2,448	2,357	2,174	2,081	95.7%
岩脇村	4,544	4,332	4,179	3,969	3,768	3,501	92.9%
旧東郷町	5,539	5,190	4,889	4,456	3,997	3,553	88.9%
串間市	25,243	23,647	22,118	20,453	18,779	16,822	89.6%
西都市	36,331	35,381	34,087	32,614	30,683	28,610	93.2%
えびの市	25,872	24,906	23,079	21,606	19,538	17,638	90.3%
三股町	22,941	24,056	24,545	24,800	25,404	25,591	100.7%
高原町	11,619	11,254	10,623	10,000	9,300	8,639	92.9%
国富町 町全域	22,130	22,367	21,692	20,909	19,606	18,398	93.8%
中山間地域のみ	4,719	4,612	4,350	4,045	3,621	3,182	87.9%
八代村	4,719	4,612	4,350	4,045	3,621	3,182	87.9%
綾町	7,419	7,596	7,478	7,224	7,345	6,934	94.4%
高鍋町	22,886	22,748	22,522	21,733	21,025	19,922	94.8%
新富町	18,037	19,058	18,608	18,092	17,373	16,564	95.3%
西米良村	1,543	1,480	1,307	1,241	1,089	1,000	91.8%
木城町	5,727	5,759	5,531	5,177	5,231	4,895	93.6%
川南町	18,053	17,630	17,323	17,009	16,109	15,194	94.3%
都農町	12,618	12,321	11,811	11,137	10,391	9,906	95.3%
門川町	19,155	19,287	19,207	18,854	18,183	17,379	95.6%
諸塚村	2,687	2,402	2,119	1,882	1,739	1,486	85.5%
椎葉村	4,160	3,769	3,478	3,092	2,808	2,503	89.1%
美郷町	8,251	7,509	6,874	6,248	5,480	4,826	88.1%
高千穂町	16,780	15,843	14,778	13,723	12,755	11,642	91.3%
日之影町	5,928	5,445	5,031	4,463	3,946	3,635	92.1%
五ヶ瀬町	5,265	5,079	4,812	4,427	3,887	3,472	89.3%
中山間地域計	480,752	470,725	451,931	430,190	406,118	381,689	94.0%
県計	1,175,819	1,170,007	1,153,042	1,135,233	1,104,069	1,069,576	96.9%

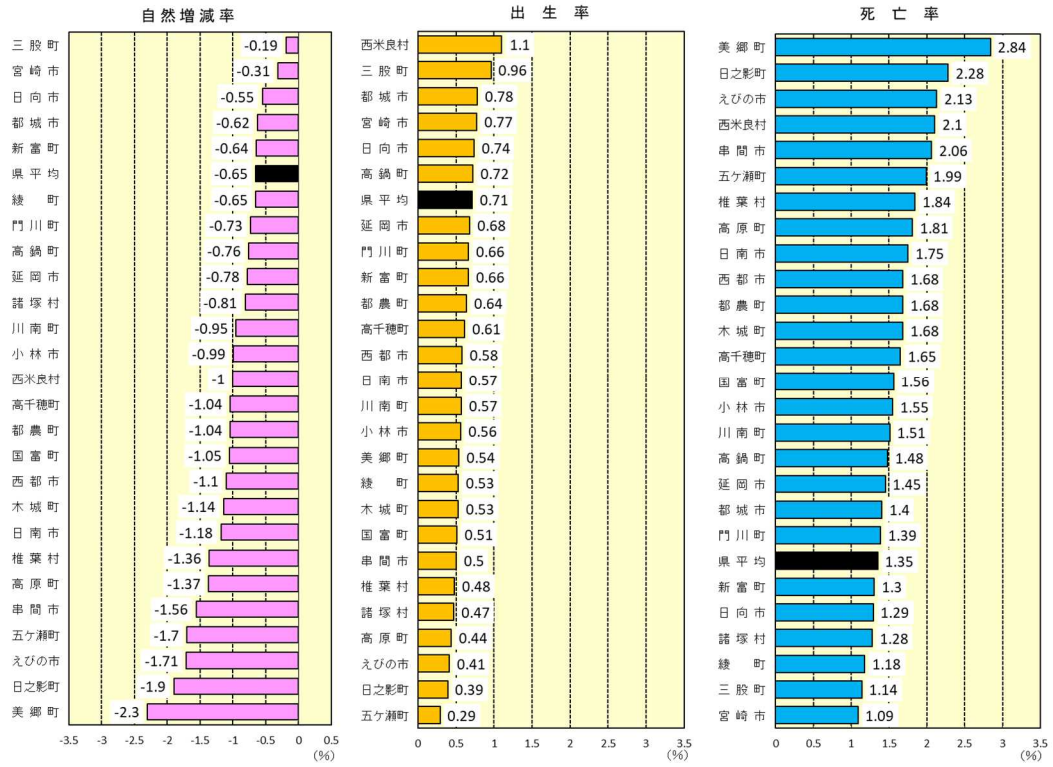
資料：総務省統計局「国勢調査結果」より県中山間・地域政策課作成。

## 国立社会保障・人口問題研究所による将来人口推計

	2015年 国勢調査	2020年 推計	2025年 推計	2030年 推計	2035年 推計	2040年 推計	2045年 推計	2015年を 100とした 割合
宮崎県	1,104,069	1,066,719	1,023,170	976,626	928,034	876,863	824,806	74.7
宮崎市	401,138	399,619	394,839	387,659	378,275	366,714	353,770	88.2
都城市	165,029	159,293	152,757	146,021	139,295	132,402	125,496	76.0
延岡市	125,159	118,491	111,312	104,062	96,820	89,544	82,423	65.9
日南市	54,090	50,395	46,562	42,732	38,981	35,285	31,695	58.6
小林市	46,221	43,970	41,482	38,927	36,414	33,887	31,308	67.7
日向市	61,761	59,759	57,324	54,590	51,704	48,639	45,498	73.7
串間市	18,779	17,031	15,295	13,651	12,109	10,633	9,229	49.1
西都市	30,683	28,566	26,378	24,203	22,079	19,921	17,797	58.0
えびの市	19,538	17,635	15,765	14,018	12,344	10,746	9,247	47.3
三股町	25,404	25,641	25,538	25,150	24,567	23,881	23,150	91.1
高原町	9,300	8,589	7,862	7,165	6,515	5,878	5,220	56.1
国富町	19,606	18,250	16,874	15,508	14,134	12,706	11,253	57.4
綾町	7,345	7,231	7,011	6,743	6,469	6,182	5,916	80.5
高鍋町	21,025	20,131	19,199	18,198	17,155	16,101	15,081	71.7
新富町	17,373	16,512	15,564	14,594	13,569	12,490	11,421	65.7
西米良村	1,089	968	855	759	685	619	566	52.0
木城町	5,231	5,020	4,769	4,507	4,245	3,979	3,725	71.2
川南町	16,109	15,145	14,131	13,079	12,007	10,896	9,794	60.8
都農町	10,391	9,843	9,055	8,276	7,478	6,677	5,919	57.0
門川町	18,183	17,314	16,363	15,368	14,343	13,299	12,266	67.5
諸塚村	1,739	1,498	1,288	1,103	939	798	667	38.4
椎葉村	2,808	2,479	2,160	1,871	1,621	1,399	1,191	42.4
美郷町	5,480	4,809	4,185	3,627	3,125	2,636	2,190	40.0
高千穂町	12,755	11,713	10,674	9,678	8,735	7,803	6,865	53.8
日之影町	3,946	3,407	2,942	2,540	2,183	1,849	1,540	39.0
五ヶ瀬町	3,887	3,410	2,986	2,597	2,243	1,899	1,579	40.6

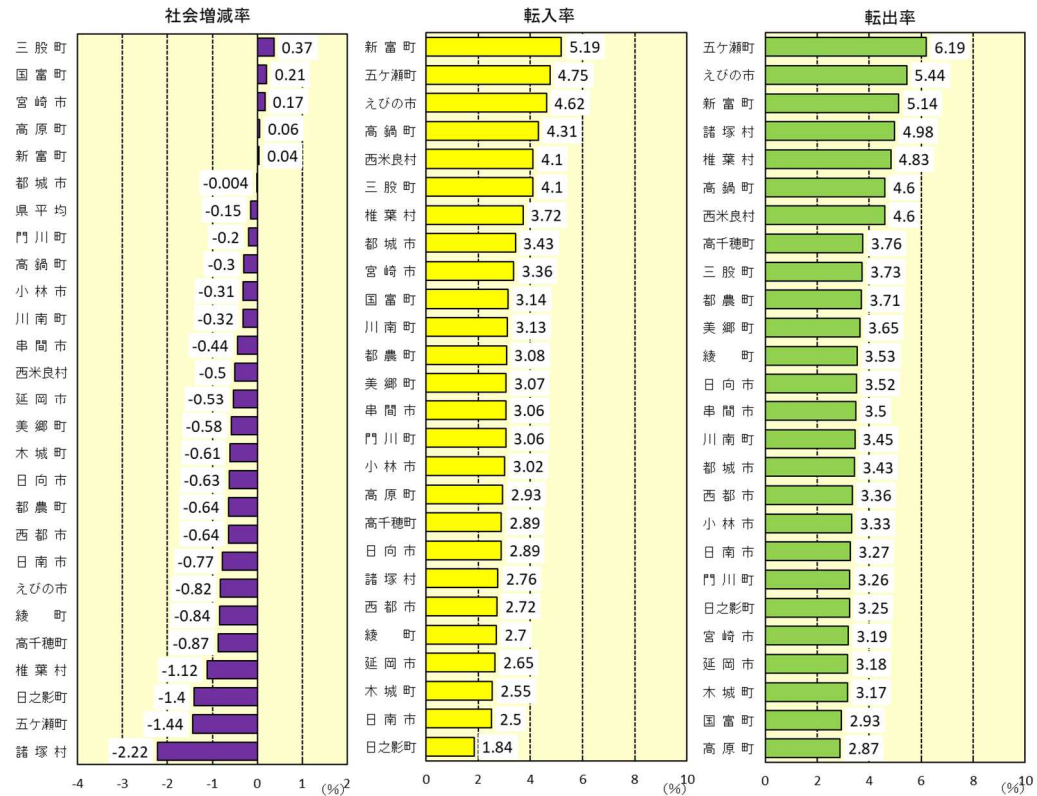
資料：国立社会保障・人口問題研究所発表 日本の地域別将来推計人口（2018 推計）

## 市町村別自然増減率の状況（令和3年10月～令和4年9月）



資料：県統計調査課「宮崎県の人口」令和3年年報。自然増減率＝自然増減数÷期始め人口×100

## 市町村別社会増減率の状況（令和3年10月～令和4年9月）



資料：県統計調査課「宮崎県の人口」令和3年年報。社会増減率＝社会増減数÷期始め人口×100

## 高齢化率と世帯数の状況

高齢化率50%かつ世帯数9戸以下… 204 集落 (12.1%)

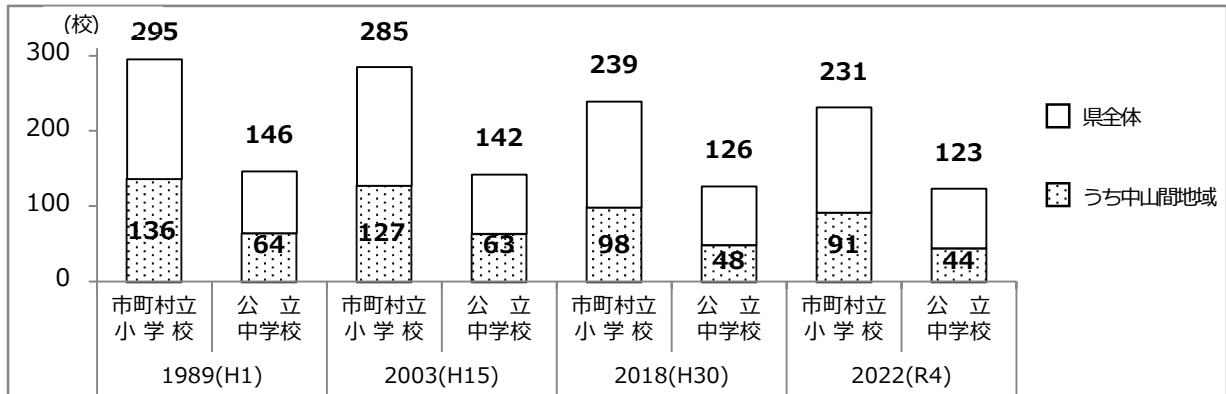
(単位：集落)

		世帯（戸数）規模別の集落数									計	
		～4戸	～9戸	～14戸	～19戸	～24戸	～29戸	～34戸	～39戸	～44戸		45戸～
高齢化率別の集落数	90%～	13	13	1	2	0	1	0	0	1	0	31
	80%～	9	17	7	1	2	2	1	1	0	2	42
	70%～	6	25	19	10	9	5	1	0	3	7	85
	60%～	15	41	43	31	19	14	8	12	7	34	224
	50%～	15	50	48	41	20	19	22	10	20	147	392
	40%～	7	42	35	24	16	18	14	15	7	286	464
	30%～	4	26	16	13	7	10	3	5	9	197	290
	20%～	2	16	6	2	3	3	1	0	2	67	102
	10%～	0	6	4	1	1	1	2	0	0	9	24
	0%～	6	12	5	2	0	0	0	0	0	3	28
計		77	248	184	127	77	73	52	43	49	752	1,682

資料：県中山間・地域政策課「中山間地域の集落の状況等に関する調査」より作成（令和4年4月1日現在）。  
集落単位による数値を把握することができない宮崎市及び都城市の一部区域を除いた集落数で算定。

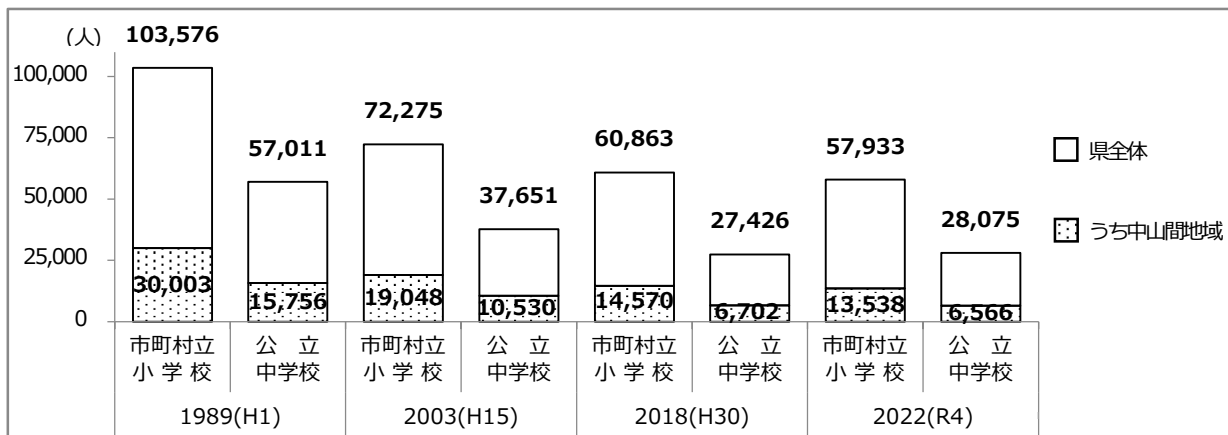
## 市町村立小学校数及び児童・生徒数の状況

### 【学校数】



資料：宮崎県教育委員会「宮崎県の教育」より県中山間・地域政策課が作成。「中山間地域」は、全域が中山間地域に該当する18市町村の数。校数には分校を含み、義務教育学校（西郷、美郷北、島野浦学園の3校）は含まない。

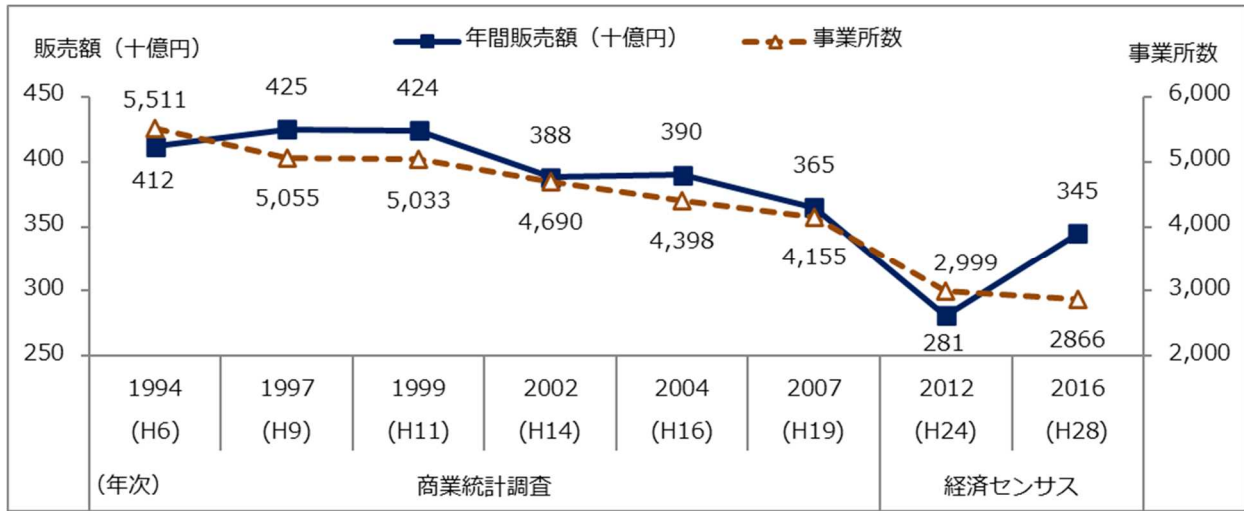
### 【児童・生徒数】



資料：宮崎県教育委員会「宮崎県の教育」より県中山間・地域政策課が作成。「中山間地域」は、全域が中山間地域に該当する18市町村の数。児童・生徒数には分校を含み、義務教育学校（西郷、美郷北、島野浦学園の3校）は含まない。

## 「生活」の状況

### 卸売業・小売業の年間販売額と事業所数の推移



資料：平成6（1994）年～平成19（2007）年は経済産業省「商業統計調査」、平成24（2012）年～平成28（2016）総務省・経済産業省「経済センサス 活動調査」（※商業統計調査と経済センサスでは調査手法が異なる）

### へき地市町村における無医地区数、無歯科医地区数及び医師数等

へき地市町村	無医地区数	無歯科医地区数	医師数 (人)	人口 (人)	面積 (平方キロメートル)	人口千人当たり医師数 (人)	1平方キロメートル当たり医師数 (人)
都 城市			367	161,968	653.36	2.27	0.56
延岡市	3	4	236	120,696	868.02	1.96	0.27
日南市	1	1	130	51,781	536.11	2.51	0.24
小林市			90	44,581	562.95	2.02	0.16
日向市			102	60,559	336.94	1.68	0.30
串間市	1	1	35	17,775	295.17	1.97	0.12
西都市		1	54	29,569	438.79	1.83	0.12
えびの市			30	18,473	282.93	1.62	0.11
高原町			9	8,859	85.39	1.02	0.11
綾町			6	7,111	95.19	0.84	0.06
西米良村			2	1,040	271.51	1.92	0.01
木城町			1	5,090	145.96	0.20	0.01
都農町			7	10,169	102.11	0.69	0.07
諸塚村	3	3	2	1,600	187.56	1.25	0.01
椎葉村	5	5	3	2,627	537.29	1.14	0.01
美郷町			7	4,994	448.84	1.40	0.02
高千穂町			19	12,205	237.54	1.56	0.08
日之影町			3	3,751	277.67	0.80	0.01
五ヶ瀬町			2	3,632	171.73	0.55	0.01
19市町村	13	15	1,105	566,480	6,535.06	1.95	0.17
県計			2,810	1,079,727	7,735.32	2.60	0.36

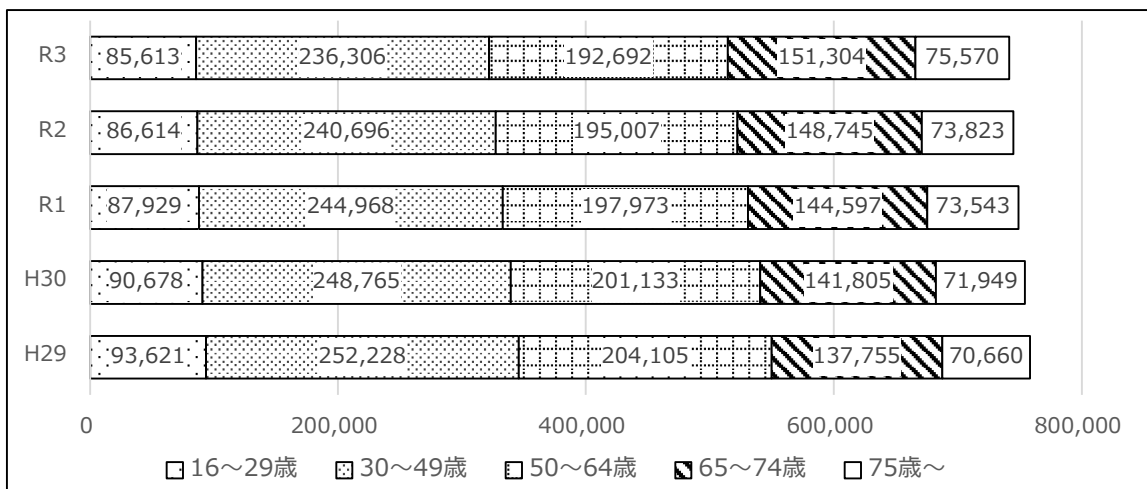
資料：無医地区、無歯科医地区は、2019年度厚生労働省調査。人口は「宮崎県の推計人口（2018年10月1日現在）」（宮崎県統計調査課）。医師数は「医師・歯科医師・薬剤師統計（2018年12月現在）」

### 介護職員需給推計

	令和元年度 (2019)		令和7年度 (2025) (推計値)	令和22年度 (2040) (推計値)
介護職員	21,447人	需要	23,339人	27,251人
		供給	20,692人	17,703人
		差	2,647人	9,548人

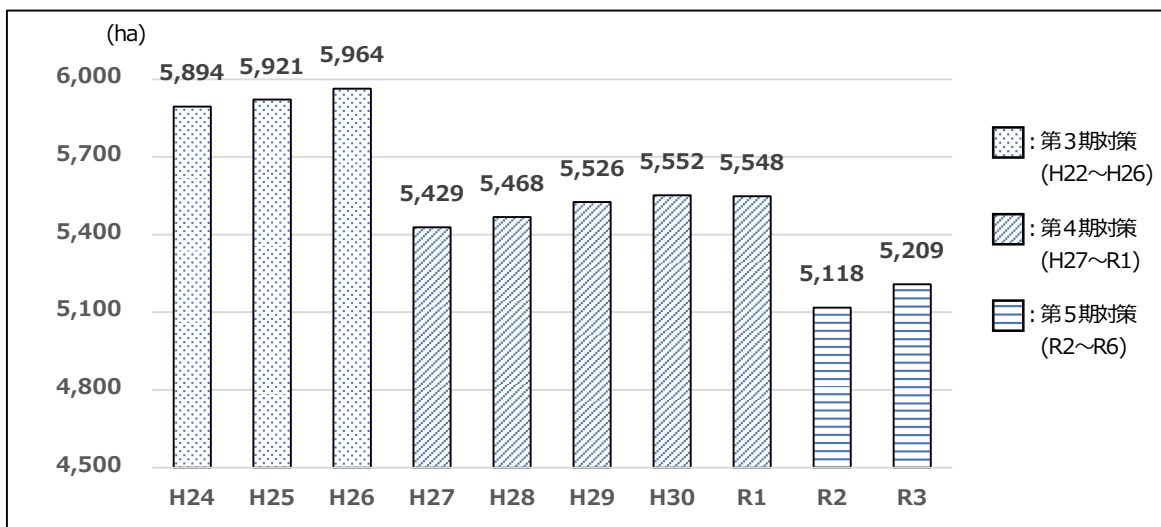
資料：「第九次宮崎県高齢者保健福祉計画」。令和元（2019）年度の介護職員数は、「介護サービス施設・事業所調査」を基に厚生労働省にて推計。各年度の介護職員数には、通所リハビリテーションに従事する介護職員を含まない。

### 年齢別運転免許保有者数



資料：警察庁「警察免許統計」より県中山間・地域政策課作成。県全体の数値。各年、年末現在の数値。

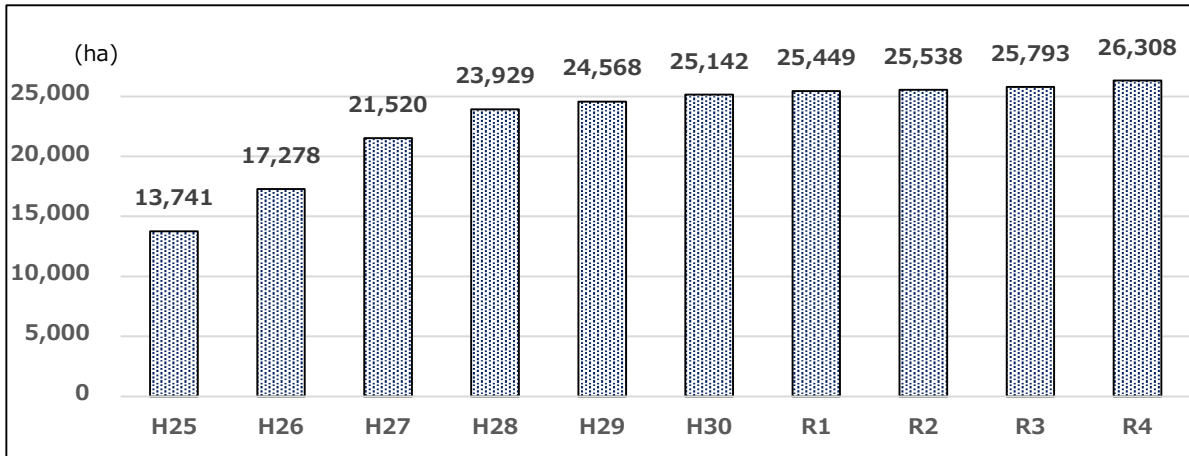
### 中山間地域等直接支払制度協定面積の推移



資料：県農村整備課資料より県中山間・地域政策課作成。条例上の中山間地域の数値。



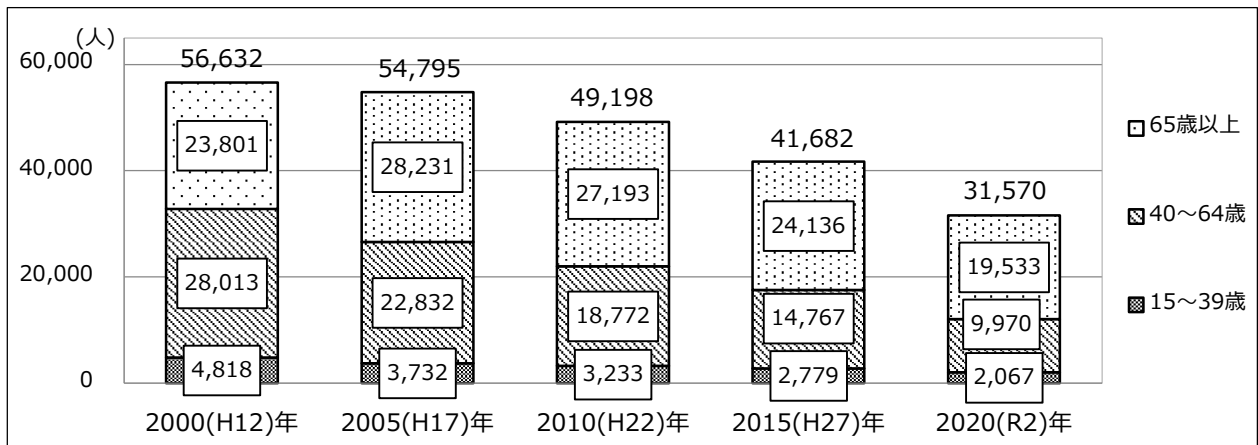
### 多面的機能支払制度（農地維持・共同活動）面積の推移



資料：県農村整備課資料より県中山間・地域政策課作成。県全体の数値。多面的機能支払制度のうち「農地維持支払」と「資源向上支払」のうち「共同活動」の合計値。

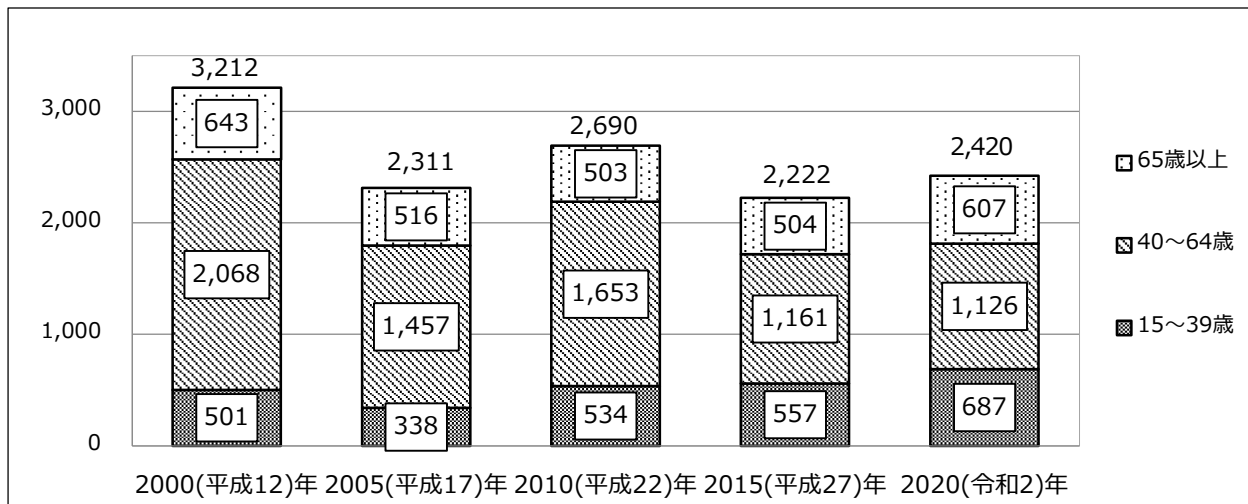
## ■ 「しごと」の状況

### 基幹的農業従事者数の推移



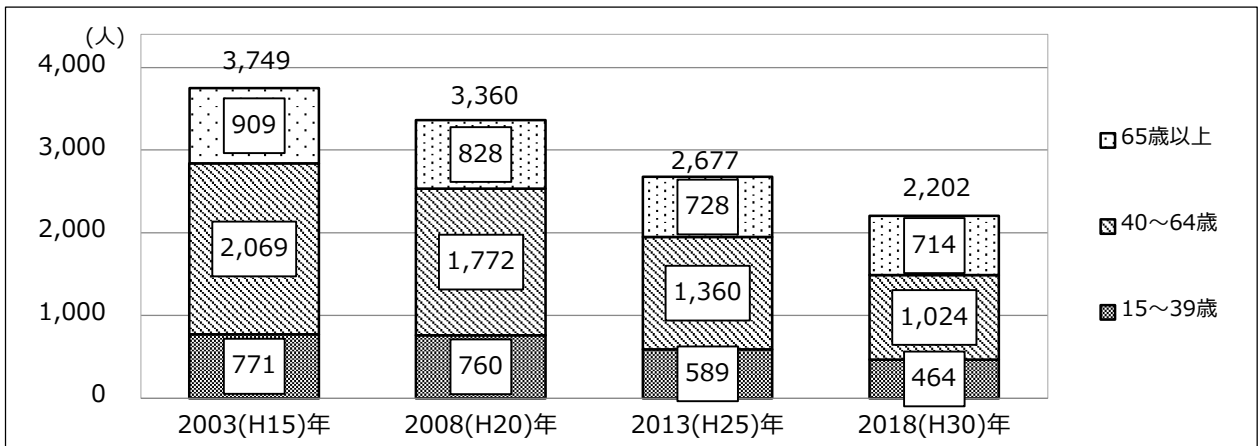
資料：農林水産省「農林業センサス」より作成。県内全域の数値。

### 林業就業者数の推移



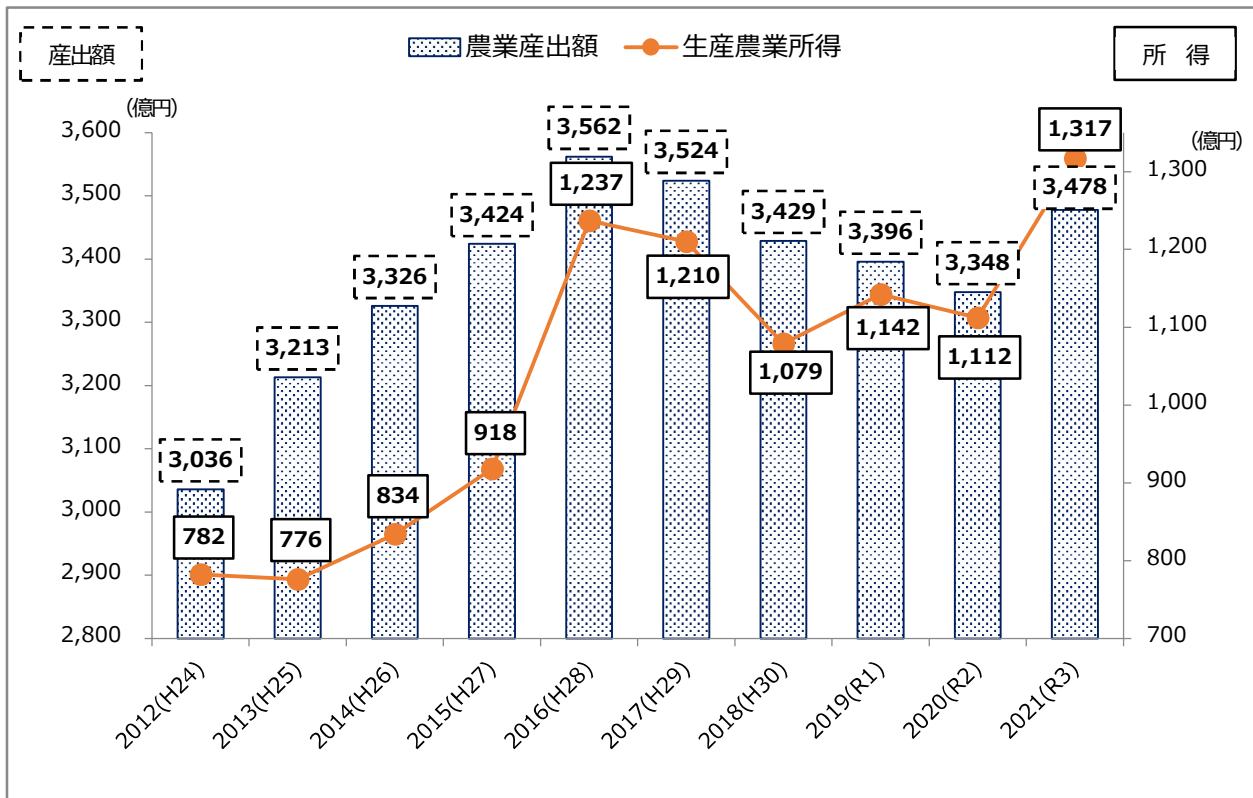
資料：総務省「国勢調査」より作成。県内全域の数値。

### 漁業就業者数の推移



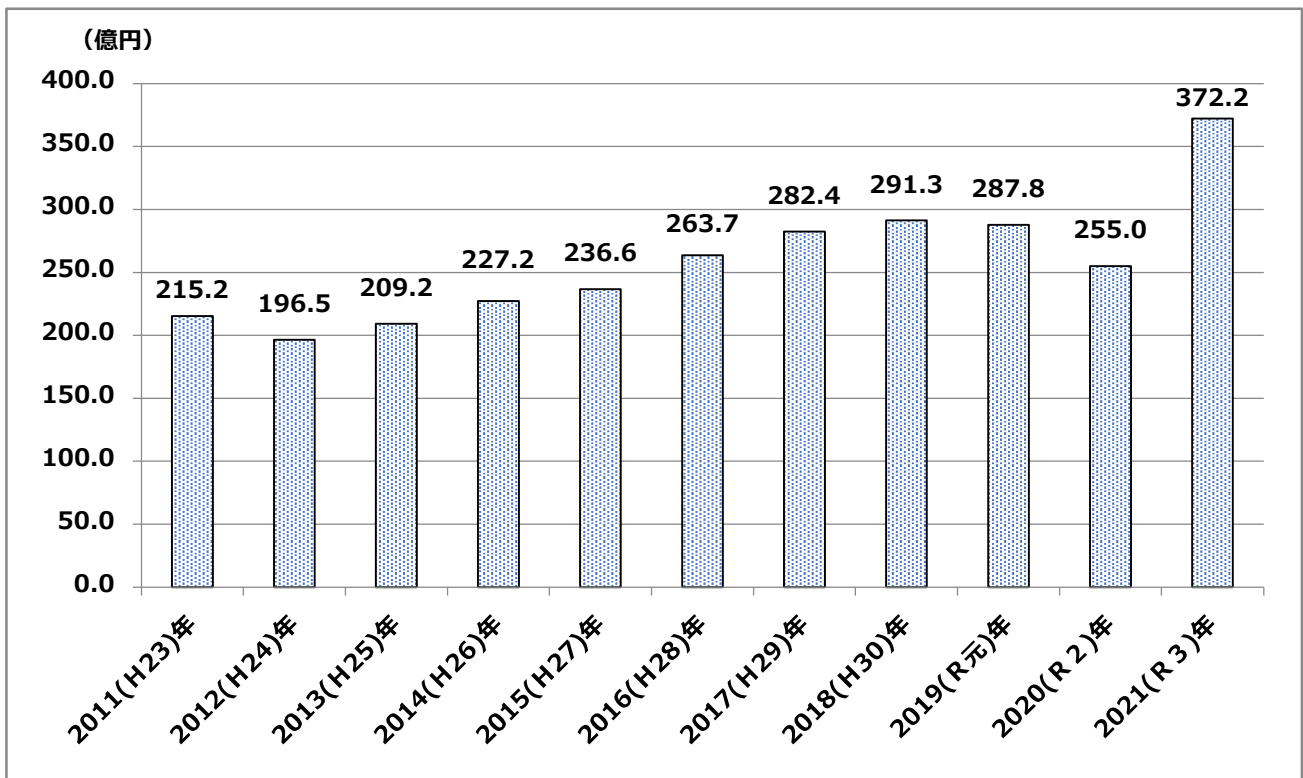
資料：農林水産省「漁業センサス」より作成。県内全域の数値。

### 農業産出額・生産農業所得の推移



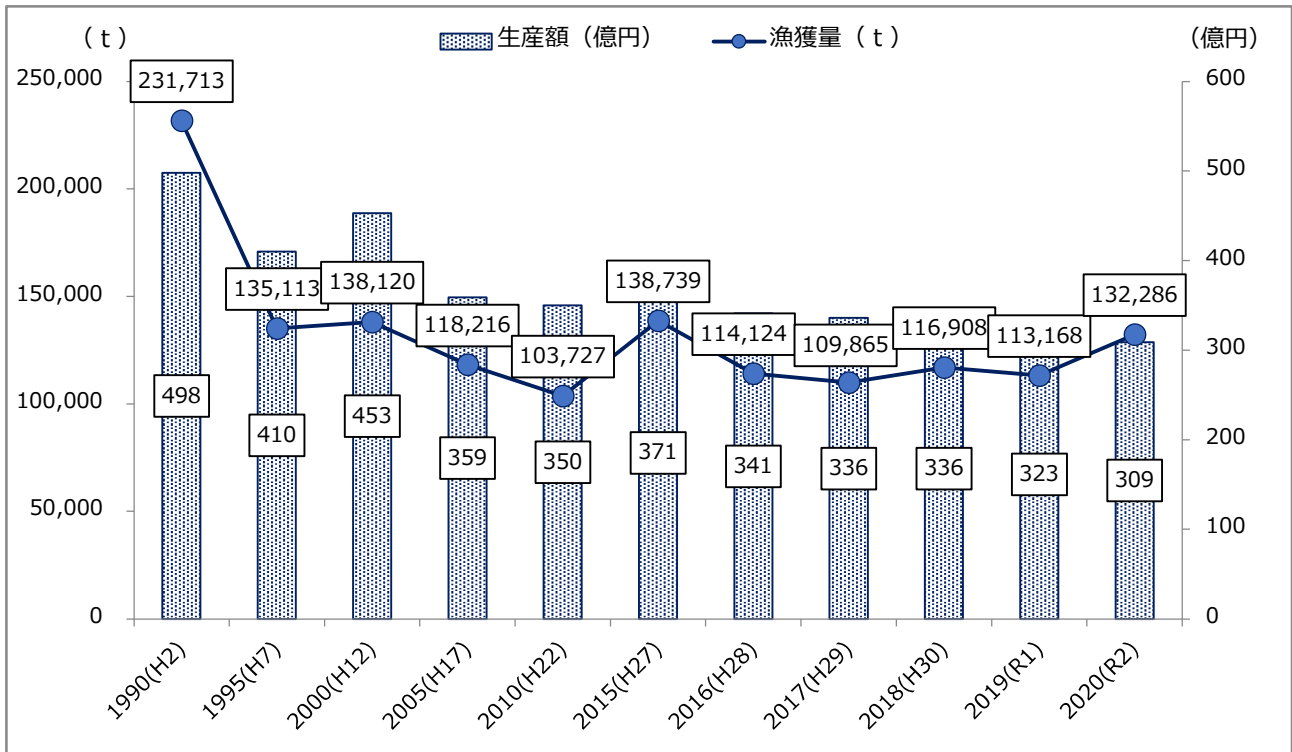
資料：農林水産省「生産農業所得統計」より作成。県内全域の数値。2021（令和3）年は、第1報。

### 林業産出額の推移



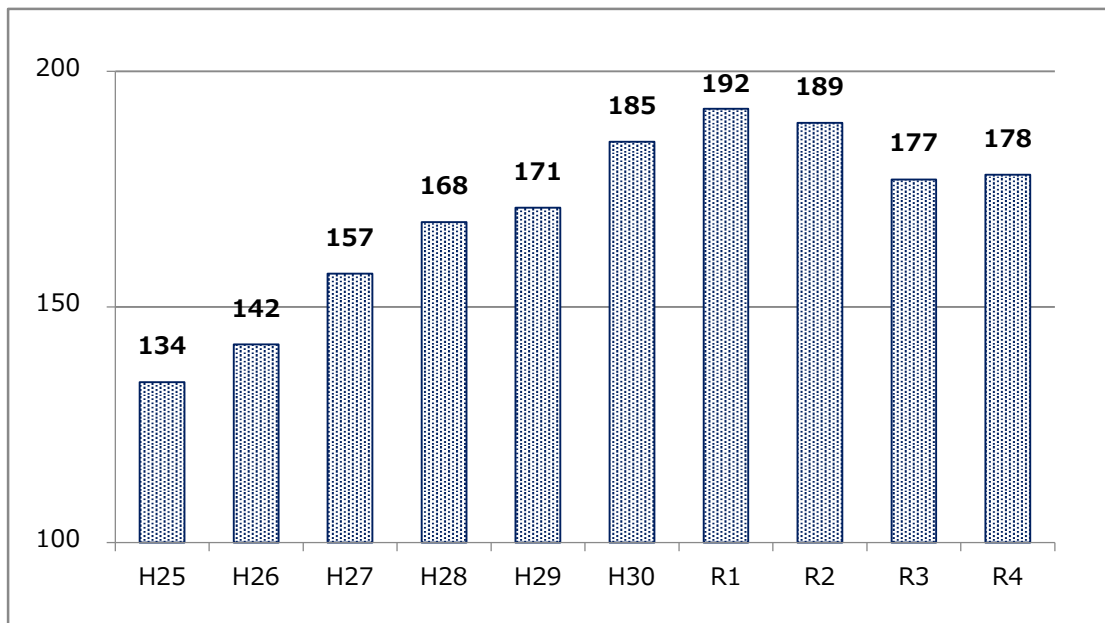
資料：農林水産省「生産林業所得統計」より作成。県内全域の数値。

### 海面漁業・養殖業の動向（生産額・漁獲量の推移）



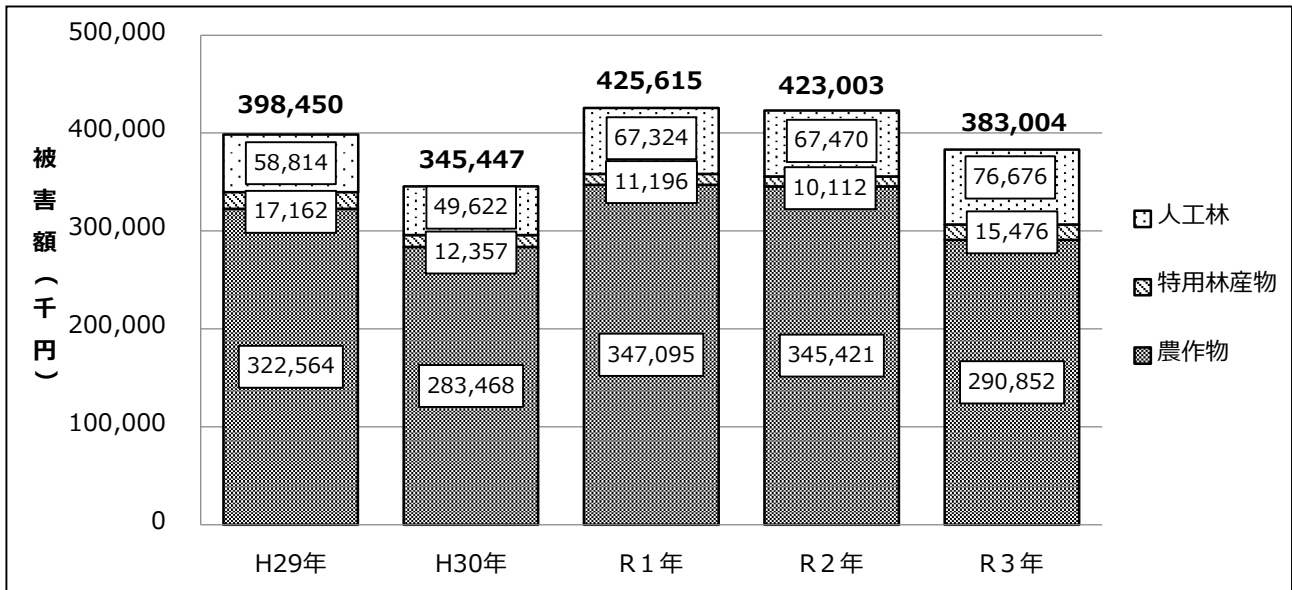
資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」より作成。県内全域の数値。

### 農林漁家民宿の推移



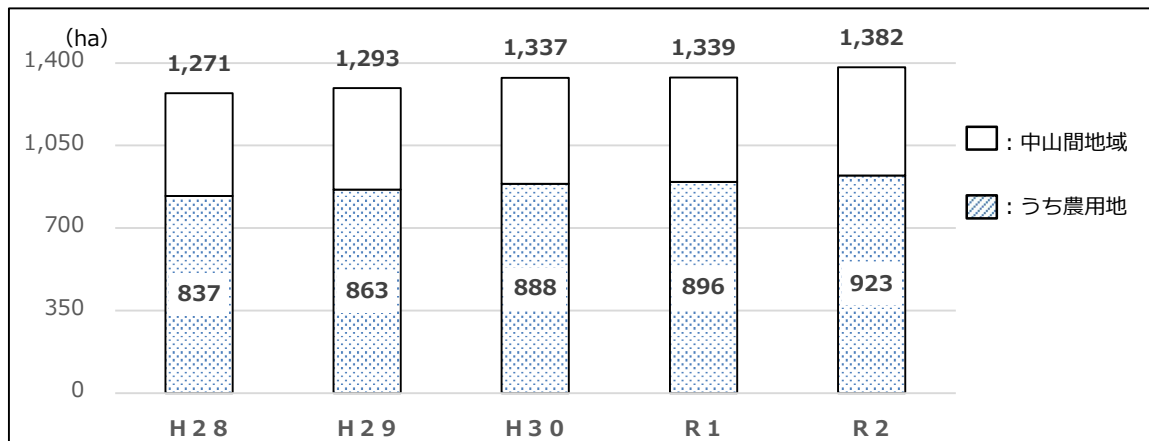
資料：県農政企画課中山間農業振興室調べ。県内全域の数値。

### 鳥獣被害額の推移



資料：県農政企画課中山間農業振興室、森林経営課、自然環境課、山村・木材振興課調べ。県内全域の数値。

### 荒廃農地面積の推移



資料：農林水産省「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査結果」より県中山間・地域政策課が作成。  
「中山間地域」は、全域が中山間地域に該当する18市町村の数。

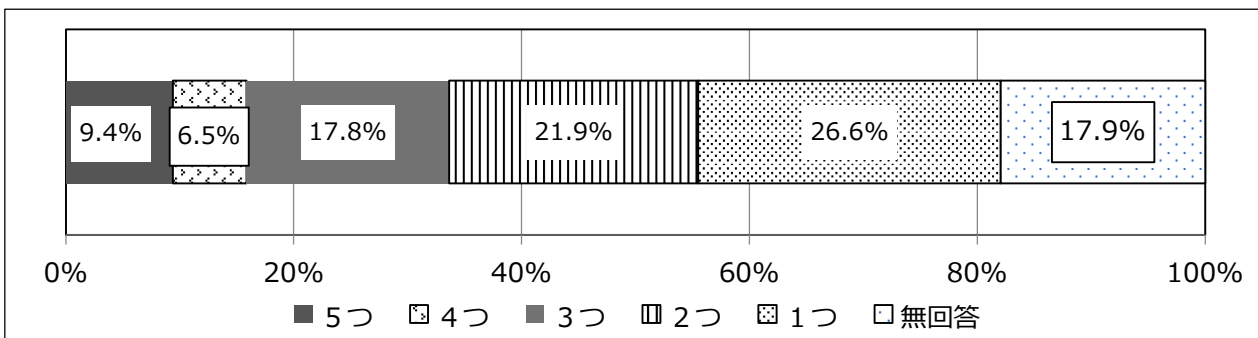
## ■ 中山間地域に対する意識・理解度

問：中山間地域の持つ次の主な機能のうち、あなたが知っているものを教えてください。  
（当てはまるものすべてに○）

### 【回答】

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 水源のかん養や食料の供給 (31.6%)    | 2 洪水や土砂の流出を防ぐ国土保全 (58.8%)    |
| 3 木材の供給やCO2の吸収 (43.3%)    | 4 神話や神楽などの個性豊かな文化の伝承 (48.3%) |
| 5 森林セラピーなど癒しの場の提供 (45.3%) |                              |

### 【「知っている」と答えた機能の数の割合】



資料：県総合政策課「令和3年度県民意識調査」より県中山間・地域政策課作成。県内全域の数値。

## 策定経過

実施期間	事 項
令和4年2月～3月	26市町村との意見交換（P59参照）
4月～8月	集落状況調査（中山間地域23市町村、集落代表者等） ※ 市町村アンケート（P6～7参照） ※ 集落代表者等アンケート（P57～58参照）
10月	中山間地域振興協議会（県内7地域）（P60参照）
11月	県議会総務政策常任委員会（【計画骨子案】報告）
令和5年2月14日	宮崎県中山間地域対策推進本部会議（【計画素案】協議）
3月	県議会総務政策常任委員会（【計画素案】報告）
3月13日～4月12日	パブリック・コメント手続き
5月15日	宮崎県中山間地域対策推進本部会議（【計画案】協議・決定）
6月9日	県議会6月定例会（【議案】提出）
6月28日	議決

# アンケート調査・意見交換等

## ■ 集落代表者等へのアンケート

### 1 対象者

中山間地域内の集落代表者等（地区公民館長、地区青年団代表者、地域婦人連絡協議会代表者）

### 2 調査時期

令和4年4月から8月

### 3 回答状況

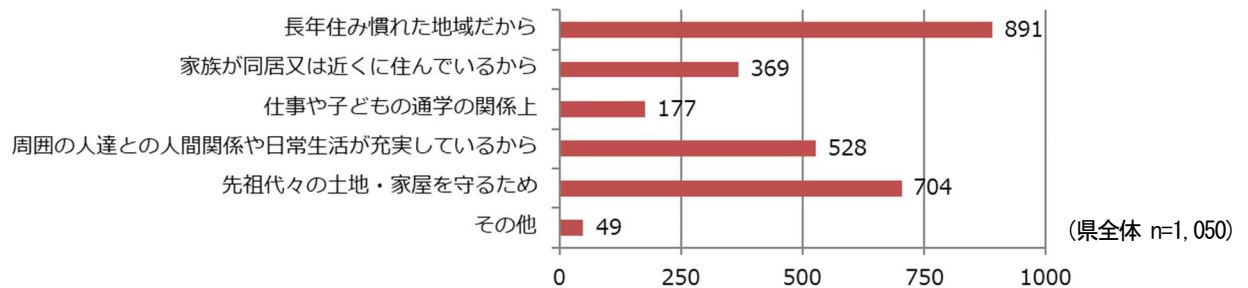
配布：1,883通 回収：1,176通 回収率：62.5%

### 4 調査内容

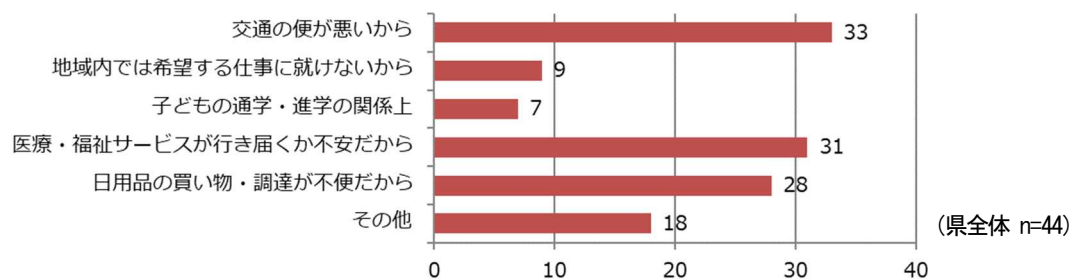
#### (1) 現在住んでいる地域への居住意向

	平成26年度調査 (平成26年4月)	平成30年度調査 (平成30年4月)	今回調査 (令和4年4月)
住み続けたい	71.7%	73.9%	74.1%
どちらかといえば住み続けたい	13.8%	15.6%	15.1%
どちらとも言えない	6.5%	6.5%	6.2%
どちらかといえば住み続けたくない	2.7%	2.7%	3.0%
住み続けたくない	0.9%	0.9%	0.8%
無回答	0.4%	0.4%	0.8%

#### (2) 上記(1)で「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と回答した理由 (複数回答可)



#### (3) 上記(1)で「住み続けたくない」、「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した理由 (複数回答可)



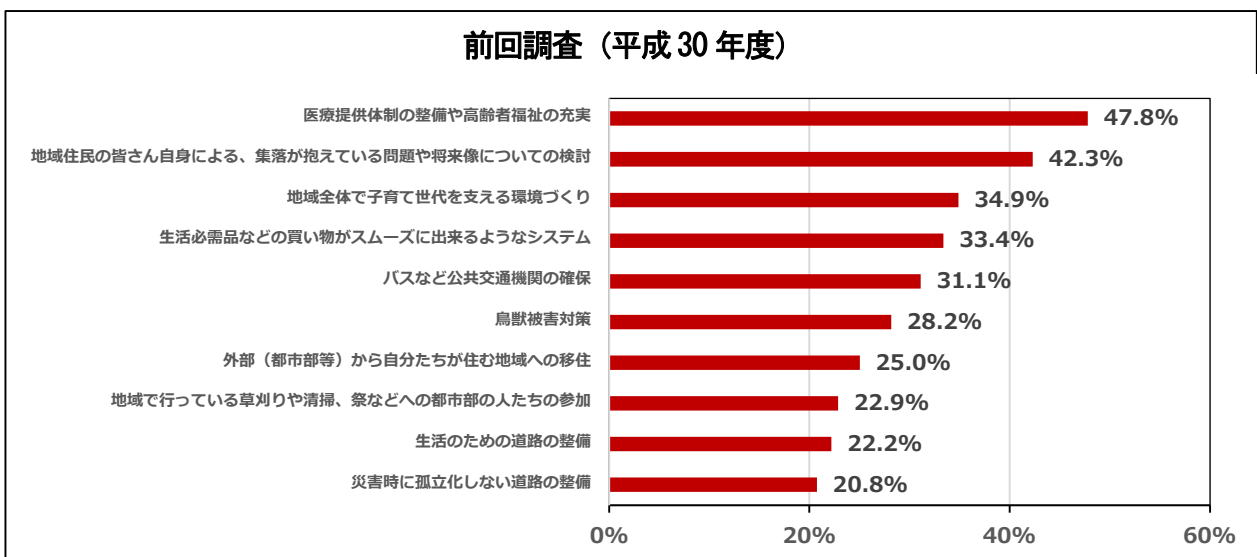
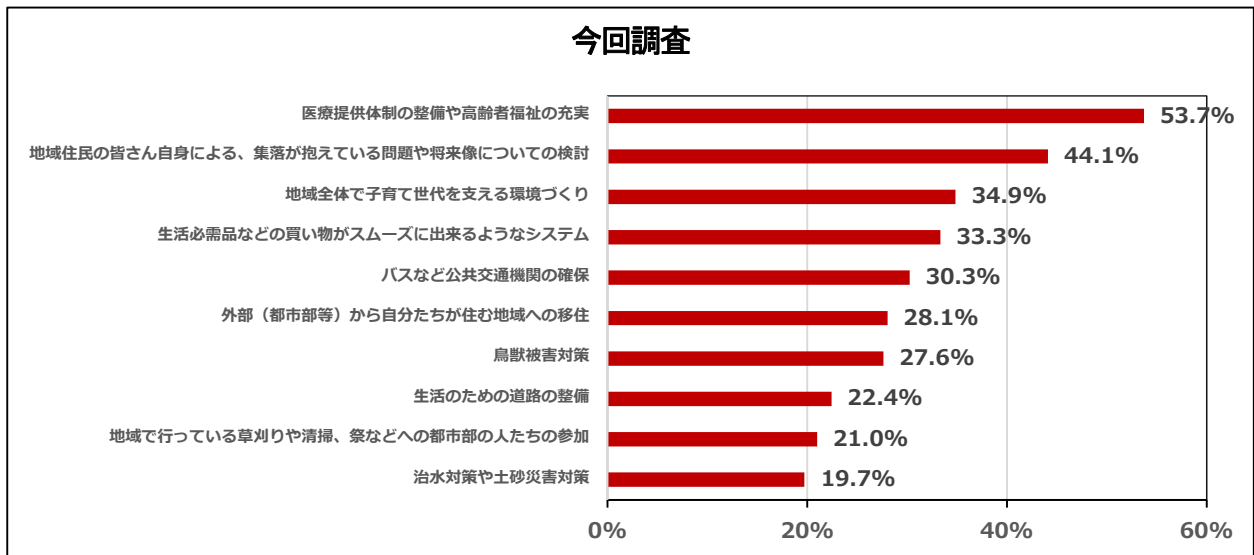


(4) 地域が活性化するために特に必要と思われるもの（以下の28項目の中から5つを選択）

1	地域住民の皆さん自身による、集落が抱えている問題や将来像についての検討
2	地域で行っている草刈りや清掃、祭などへの都市部の人たちの参加
3	中山間地域が果たしている役割（水や食料の供給、二酸化炭素の削減など）の発信
4	外部（都市部等）から自分たちが住む地域への移住
5	自然や郷土芸能などといった、中山間地域の特色や資源を生かした教育
6	地域全体で子育て世代を支える環境づくり
7	文化財の保護・継承や、文化財を活用した地域づくりや情報発信
8	医療提供体制の整備や高齢者福祉の充実
9	生活必需品などの買い物かスムーズに出来るようなシステム
10	バスなど公共交通機関の確保
11	生活のための道路の整備
12	携帯電話や光回線など情報通信網の整備
13	治水対策や土砂災害対策
14	消防団など地域の防災体制の整備

15	生活排水対策
16	防災上の対策としての集落の再編整備の検討
17	災害時に孤立化しない道路の整備
18	地域に適した農業の生産
19	農林水産業における、女性など多様な担い手の育成や確保
20	農林水産業の生産基盤や生活環境の整備
21	多様で豊かな森林づくり
22	循環型の林業・木材産業づくり
23	林業や木材産業、山村を担う人づくり
24	水産資源の適切な利用管理
25	安定した漁業経営体づくり
26	漁港機能の強化と漁村の活性化
27	地域資源を活用した新たな産業の創出への支援
28	鳥獣被害対策

【回答の多かった上位10項目】



## ■ 市町村との意見交換

### 1 実施内容

- ・実施時期：令和4年2月から3月
- ・出席者：市町村（各企画担当課）及び県（中山間・地域政策課）の課長、課長補佐及び職員
- ・内容：改定前計画における県の施策の進行状況、各地域の現状・課題等について意見交換

### 2 日程

2月28日（月）	綾町	3月17日（木）	宮崎市・日向市・西米良村
3月2日（水）	都城市		
3月4日（金）	三股町・新富町	3月18日（金）	西都市・椎葉村・美郷町・日之影町
3月7日（月）	川南町・門川町		
3月11日（金）	高千穂町	3月22日（火）	都農町・諸塚村
3月14日（月）	国富町	3月23日（水）	延岡市・串間市・高原町・高鍋町
3月15日（火）	小林市		
3月16日（水）	日南市・木城町・五ヶ瀬町	3月24日（木）	えびの市

### 3 出された意見等

- 自主組織を設立し、イベント等の実施によりある程度活性化した地域もある。次の段階である地域課題の解決に取り組みたいが、地域内に様々に存在する組織の活動の整理が必要。
- 住民と行政の対話が不十分だと感じている。取組を進めるためには、つなぎ役が必要。
- 「宮崎ひなた生活圏づくり」に経済的視点を含める考え方に賛同。地域活性化や経済効果が期待できるのではないかと。
- 地域コミュニティの担い手がいない。仕事もあり、地域活動を行う余裕や時間が無いことが要因として挙げられる。そのため、引き受けてくれる人に役が集中してしまう。
- 新型コロナウイルスの影響で、コミュニティのあり方が変わった。コミュニティ維持が難しくなっている。
- 運転免許返納から要介護認定までの期間に移動支援が必要な高齢者をどのようにカバーしていくかが課題。
- 移住や住居に関する相談は増えていても、住居が不足している状況。空き家バンク等への登録件数を増やしたいが、所有者の意向（仏壇等の家財を残したい、盆正月は帰省するなど）もあり、空き家の利活用ができていない。
- 様々な分野で複数市町村が連携することが必要となっている。広域連携の取組を進めるべき。
- DXの推進は、避けて通れないテーマだが、「誰ひとり取り残さない」視点を持って施策に取り組むべき。

## ■ 中山間地域振興協議会

### 1 実施内容

- ・実施時期：令和4年10月
- ・出席者：自治会等の代表者、地域づくり団体の代表者 等  
各地域の市町村地域振興担当課長  
県中山間・地域政策課長、農林振興局・西臼杵支庁担当次長ほか関係職員
- ・内容：各地域の現状・課題、改定計画の構成案等について意見交換

### 2 日程等

地 域	開 催 日	場 所	出 席 者
宮崎東諸県	10月14日（金）	県庁防災庁舎	民間6名、市町村2名、県振興局3名、本庁5名
日南・串間	10月20日（木）	日南総合庁舎	民間8名、市町村2名、県振興局3名、本庁5名
北諸県	10月24日（月）	都城総合庁舎	民間7名、市町村2名、県振興局3名、本庁4名
西諸県	10月27日（木）	小林総合庁舎	民間5名、市町村3名、県振興局3名、本庁6名
西都・児湯	10月7日（金）	高鍋総合庁舎	民間7名、市町村7名、県振興局3名、本庁5名
延岡・日向・東臼杵	10月11日（火）	日向総合庁舎	民間5名、市町村5名、県振興局4名、本庁5名
西臼杵	10月19日（水）	西臼杵支庁舎	民間7名、市町村3名、県支庁4名、本庁5名

### 3 出された意見等

- 農村地域の担い手が不足している。様々な地域団体(自治会等)が並列的に活動しており、それを取りまとめる組織がない。一人が2、3の役職を引き受けたり、長期にわたって従事せざるを得ないのが現状。(市町村)
- 大事なことは、行政が主導するのではなく、地域で自発的に組織づくりに取り組むこと。地域の困り事を解決する必要性から発足した組織は強い。ある程度目的の定まった組織は自ら動いていく。(市町村)
- 地域のリーダーとなる人材が少ない。強力なリーダーシップを持った人がいれば、皆付いていくと思うが、リーダーにふさわしいと思われる人をお願いしても、なかなか引き受けてもらえない。(自治会等代表者)
- 行政が地域と連携し、耕作放棄地と有害鳥獣への対策をとってほしい。猟友会メンバーが減る中、シカやイノシシの被害が増えている。(集落代表者)
- 行政が縦割りで、バラバラに同じような取組を行っているが、全て一つにまとめていく方が良いと思う。学校(教育)、社協(福祉)、観光協会(観光)、商工会(商工業)など分野横断で一堂に会し、協議する場が必要。(地域づくり団体の代表者)
- 高齢者の交通事故が増え、免許返納者も増えてきていることから、買い物に困っているという話をよく聞く。(商工団体の代表者)
- 中山間地域と聞くと、マイナスのイメージが強い。田園回帰という言葉もあるが、事業の推進に当たっては、プラスのイメージを大いに強調して取り組んでもらいたい。(自治会等の代表者)

## これまでの取組

本県では、宮崎県中山間地域振興計画に基づき、「ひと」「生活」「しごと」のそれぞれの課題解決に向け、継続中のものも含め、以下に挙げるような各種施策に取り組んできました。

### 【ひと】

移住促進のため、「宮崎ひなた暮らしUIJターンセンター」（平成27年：宮崎市・東京都、令和元年：大阪府、福岡県）を開設し、本県への移住を希望される方からの相談にワンストップで対応するとともに、都市部における移住相談会の開催や、移住情報サイト「あったか宮崎ひなた暮らし」等を通じた情報発信にも取り組んできました。

さらに、移住された方の地域への定着が図られるよう、移住に伴う不安や困りごとに対応する市町村の取組への支援にも取り組んでいます。

また、地域を担う次世代の育成のため、地区生徒寮の運営支援やへき地育英資金の貸与といった高等学校等の進学環境整備、ICT技術を活用した教育環境整備のための実証事業、地域課題の探求的な学習を通じたふるさと学習の充実に取り組んでいます。

### 【生活】

過疎地域等の医療サービスを確保するため、自治医科大学卒業医師の派遣やへき地診療所に対する運営・設備整備に対する支援を行ってきたほか、県立病院に救命救急センターを設置（県立宮崎病院：平成24年4月、県立延岡病院：平成25年3月）するとともに、宮崎大学医学部附属病院のドクターヘリ（平成24年4月）や県立延岡病院のドクターカー（令和3年4月）の運行を実現しました。

また、市町村をまたぐバス路線の維持や、路線バス等の乗客と一緒に宅配便の荷物を輸送する貨客混載の取組開始、住民主体のコミュニティバス運行への支援等により、生活に欠かせない交通や物流の確保を図ったほか、市町村と連携した携帯電話基地局の整備推進などにより、情報格差の解消に取り組んでいます。

このほか、いきいき集落の認定（平成20年度～）による住民主体の地域づくりや中山間盛り上げ隊の派遣（平成21年度～）により集落活動等の維持を支援してきたほか、「中山間地域をみんなで支える県民運動」の展開（平成24年度～）や高千穂郷・椎葉山地域の世界農業遺産認定（平成27年12月）、綾ユネスコエコパーク（平成24年7月）、祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録（平成29年6月）の推進などにより、本県中山間地域の価値や魅力の発信などにも継続的に取り組んでいます。

### 【しごと】

中山間地域の基幹産業である農林水産業の振興を図るため、生産性向上や品質向上の取組、収益性の高い品目の導入や新技術の確立に対する支援を行ってきたほか、ドローンやICT技術を活用して省力化や高品質化を図るスマート農林業の導入促進に取り組んできました。

また、鳥獣害について、鳥獣被害対策支援センター（平成24年4月）を設置し、継続的に対策強化や利活用に取り組んできたほか、地域資源を生かしたビジネス創出のため、中山間地域産業振興センター（平成24年5月）やフードビジネス相談ステーション（平成25年11月）を設置し、魅力ある商品開発、地域資源のブランド化や加工品の開発等による販売力の強化を支援してきました。

担い手の確保・育成に関しては、新規就農相談センターによる支援を行うとともに、みやざき林業大学校（平成31年）、（公社）宮崎県漁村活性化推進機構（平成28年1月）を開設しました。

このほか、市町村間連携支援基金（平成23年7月）を創設し、市町村の枠を越えた広域での地域資源を活用した事業の実現に対する支援にも取り組んでいます。